

2018年4月20日

第73号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

「安倍首相、辞めさせたい」 だから、3000万人署名！

大阪

新しいスーツの若者も署名OK！

4月10日に大阪国公は、定例の9の日行動を行いました。

天満橋の夕方、仕事帰りの働く仲間に向けてマイクを握った弁士は、「安倍首相のもと、行政がゆがめられている。憲法を変えるのではなく、憲法をくらしにいかしていくことが求められています。ごいっしょに声をあげていきましょう」とよびかけ、3000万人署名への協力も訴えました。

参加者は、3000万人署名ポスターを首から下げ、仕事を終えた真新しいスーツ姿の若者に、「憲法9条を守ろう」と声をかけ、リーフを渡しました。

日教組組合員・退職者と共同で憲法守ろうのアピール作成

豊中・教職員9条の会は、憲法をめぐる緊迫した情勢のもとで、3000万人署名を教職員にどのように広げるのか、他の教職員組合の組合員とも議論しました。

そして、教職員9条の会・退職教職員9条の会、日教組の現職組合員・退職者15人が呼びかけ人となり、2018年憲法を守ろうのアピールを作成しました。

このアピールを職場の教職員に知らせ、子どもたちの命と未来を守るために手をつなぎ、9条改憲を許さないとくりくみを広げようと、働きかけています。

安倍改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名
3000万署名をひろげ
改憲発議を
止めよう!



雨の中、西淀川で署名ローラー作戦を展開!

地域労組おおさか

4月15日(日)、戦争あかん! 西淀川実行委員会と地域労組おおさかとコラボで西淀地域署名ローラー作戦がとりくまれ、地域の皆さん、各地域労組から23人が参加しました。2人一組の班編成で9隊がそれぞれ分かれて192戸を訪問、対話、署名活動を行いました。

12日に事前に署名を配布していたこともあり、玄関ドアにマグネットで止めていたり、事前に署名してくれた家もありました。対話では「安倍首相は早く辞めてもらわないと」「いまの政権は信用できない」など

81人と対話、74筆の署名が集まりました。また、訪問の際に「出たらもういらっしやなかった」と、わざわざ宣伝隊のところまで降りてきて下さり、署名をしてくれる場面も。

日頃からの活動が活発に行われていることもあり、訪問の際の反応も総じて良かったとの感想が終了後のまとめの会議でだされました。地域労組おおさかの書記長は、「署名ローラーは初めての参加でしたが、署名を集めることもさることながら、対話活動の重要性を痛感しました」と感想を寄せています。

支部、職場ごとに署名を積み上げ

自治労連・吹田市職労

吹田市職労は本庁前で、自治労連作の署名ハガキを配布しました。7~8人で、2か所の職員通用口にわかれて、職場の仲間にあいさつしながら配り、管理職も含めてほとんどの職員が受け取っていました。

現在、保育所支部を中心に、地域宣伝などの取り組みで1100筆を超える署名があつまっており、ひきつづき支部ごとに職場での取り組みをつづけています。



石川県民医労青年部は、24 人の参加で新人歓迎会を開催。お花見の予定でしたが、花は散ってしまうし、雪は降ってくるので、急きょ室内に変更しての歓迎会になりました。「憲法 9 条カンパイ行動」を行い、新しく入った新人さんに憲法 9 条について説明し、なぜ憲法 9 条にカンパイ行動を行っているか、ミニ学習をしたうえで、行いました(左写真)。

富山民医労青年部は、「汗かきしゃべり場」を開催しました。班対抗ビーチバレーで汗をかいて、試合の合間に 30 分間憲法ブックレットの読み合わせをするというもの。身体を動かしたあとだと脳が活性化し、読み合わせも集中してできました。青年部は、昨年为全国アクトをきっかけに発足。5 月のメーデーでも青年を中心としたとりくみを計画中です(右写真)。



全労連女性部長声明「セクハラ疑惑の福田事務次官の罷免、麻生大臣の辞職を求める」18 日発表、夕方に次官辞任！大臣辞職を求め、さらに声を！

財務事務次官のセクハラ問題と財務省の対応に対し、4月 18 日午前、全労連は女性部長声明を出しました。労働団体からは、新聞労連・民放労連・連合などからも声明が出されました。全国からの批判を受け、18 日夕方には福田次官は辞任の記者会見を行いました。私たちの運動が追い詰めています。今、安倍政権の責任を追及するときです。

《女性部長アピール》

財務省は、福田淳一事務次官のセクハラ疑惑に関し、16 日、疑惑を否定し、女性記者に名乗り出るよう求めた。人権侵害に無理解な安倍内閣の姿勢を改めて露呈したものである。

証拠のテープに残されている福田氏の発言は、セクシャル・ハラスメントそのものである。財務省事務次官のトップとしての権力を利用して、女性の人権を侵し、働く女性の人格を傷つけるこのようなセクハラ行為は断じて許されない。セクハラ行為の事実を認めた福田事務次官は即刻辞任すべきである。

ところが、財務省は福田氏を罷免しないばかりか、こともあろうに、この事件の対応として、記者クラブに加盟する女性記者に「調査協力」を依頼した。自らを戒め、省内での徹底調査と処罰こそが求められている中で、本末転倒も甚だしい。「調査協力」は被害者や記者クラブ加盟社に対する恫喝にも等しい行為である。「調査協力」を強要することはそれ自体がセクハラであり、人権侵害である。

今、世界中で女性が自分の性的被害を「Me Too」と表明する運動が高まりを見せている。その中で、今回の財務省の対応は、国際的にも大きな批判を浴びるだろう。

財務省は、森友疑惑での公文書改ざん疑惑解明についても、今回のセクハラ事件についても、国民に真実を隠そうとするのか。私たちは、もうこれ以上、財務省における不正・腐敗を容認することはできない。財務大臣麻生太郎氏は、責任をとり、今すぐ辞職すべきである。 2018 年 4 月 18 日 全国労働組合総連合女性部 長尾ゆり

○安倍内閣を退陣に追い込む木曜日行動

森友学園疑惑徹底追及！安倍内閣は総辞職を！国会前連続行動

4月 26日(木) 18:30～国会議員会館前←木曜行動第4弾!

主催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲 NO!全国市民アクション実行委員会